

予算決算常任委員会委員長報告

去る12月2日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案3件です。議案につきましては、各分科会におきまして慎重な審査を行い、各分科会長から報告を受けた後、報告に対する、質疑、討論、採決を行いました。以下審査の経過と結果について順次報告いたします。

記

1 審査年月日 令和7年12月17日(水)

2 場 所 議 場

3 出席委員 青野康子、斉藤 章、桜井 卓、今関公美、
小久保博雅、毛呂一夫、岡村有正、湯沢美恵、
島野和夫、高橋 誠、永井 司、金森すみ子、
村田裕子、滝瀬光一、中村洋子、現王園孝昭、
諏訪幸男、工藤日出夫、大嶋達巳

4 審査結果

「議案第85号」令和7年度北本市一般会計補正予算（第6号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第86号」令和7年度北本市介護保険特別会計補正予算（第3号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第87号」令和7年度北本市公共下水道事業会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◎「議案第85号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）債務負担行為のうち小・中学校水泳指導民間委託業務及び北本市文化センター電気室変圧器等改修業務に関して、「小・中学校水泳指導民間委託業務を３年契約とする理由及び委託料について」、「令和７年度から小学校においても水泳指導民間委託業務を行ってきたが、その評価について」、「北本市文化センター電気室変圧器等改修業務において債務負担行為を設定する必要となった経緯について」質疑がありました。

（２）寄附金のうち一般寄附金に関して、「ふるさと応援寄附金を増額補正した理由及び今年度の寄附実績について」質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）債務負担行為のうち、リンクワーカー配置業務、北本市総合福祉センター管理運営業務及び北本市立ふれあいの家管理運営業務に関して、「リンクワーカー配置業務の予算が増額した理由について」、「北本市総合福祉センター管理運営業務における１年当たりの指定管理料の上昇について」、「北本市立ふれあいの家管理運営業務における１年当たりの指定管理料の上昇について」質疑がありました。

（２）民生費のうち児童措置費に関して、「児童手当の増額理由について」質疑がありました。

（３）民生費のうち保育所費に関して、「保育所の賄材料費の増額根拠について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）債務負担行為のうち、道路緊急補修・砂利道補修業務及び道路清掃・植栽管理業務に関して、「令和７年度当初予算と同額で債務負担行為を設定していると思うが、令和６年度の執行状況なども踏まえて、この金額とした理由について」質疑がありました。

(2) 繰越明許費のうち、戸籍住民基本台帳費に関して、「繰越に伴って、市民生活や実務にどのような影響があるのか」と質疑がありました。

各分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

◎「議案第86号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 総務費のうち介護認定費に関して、「システム改修の内容について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

◎「議案第87号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 下水道事業資本的支出のうち流域下水道建設負担金に関して、「今回、補正が必要となった経緯について」、「負担金として2,290万円が計上されているが、どのような計算式でこの金額が算出されているのか」と質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

なお、各分科会会長から報告のあった内容の詳細につきましては、各分科会会長報告のとおりですので、御覧いただきますようお願いいたします。

以上、報告いたします。

令和7年12月19日

予算決算常任委員会
委員長 大嶋達巳

北本市議会議長 保角美代様